

第111号

7月

# あいしま号

〒246-0022

横浜市瀬谷区三ツ境

73-7

株式会社アイシマ

TEL045-360-6021

グループホームきずな  
主任 城さんからの  
お話です。

皆様こんにちは。

グループホームきずなの主任を務めさせて頂いております、城友美と申します。

きずなの主任となり、1年5か月が過ぎました。アイシマでは8年程前からパートで働いており、正社員になってから3年目となります。

若い頃は、働いても長続きしなかったのになぜこんなに長続き出来ているんだろう・・・と考える事があります。

きずなに入ってからすぐの頃、先輩スタッフと打ち解けたりが分かりあったりすることが出来ず、悲しかった思いをし、仕事に向かうのが嫌になり、もう辞めよ

う・・・と何度も考えた事がありました。

でもせっかく始めた仕事だし、辞める事はいつでもできるんだからもう少し頑張ってみよう！と、日々ホームに向かっていました。

嫌々働いてもしょうがない。時間の無駄だ、ホームの雰囲気も悪くするだけだと思い、まずは楽しんで笑ってみることにしました。笑顔を増やすことで少しずつご利用者様も心を開いてくれるようになり、スタッフとの距離も縮まり、人との関わりが楽しくなってきました。



時間が経つにつれ徐々に仕事にも慣れ、ご利用者様やスタッフとの信頼関係もでき、自分の居場所をやっと見つけられたと思っていました。

そして先輩スタッフともだんだん打ち解けることができ、ようやく自分が認められた気がしました。その頃からきずなでの仕事が楽しくなり、ご利用者様一人一人と向き合う事にやりがいを感じる様になりました。自分はこの仕事が好きだから続いている事に気付きました。

今、ホーム長を始めご利用者様やスタッフも当初とは大きく入れ変わりましたが、とても明るく笑い声の絶えないホームとなっています。今となれば、悩み・苦しんだ事も今まで体験しなかった経験の一つです。

主任としてもまだまだですが、日々ホーム長やスタッフ、ご利用者様に成長させて頂いています。

ホーム長に「そのご利用者と出会った日から看取りは始まっている。」と聞いた事があります。ご利用者様との今を大切にし、明るく・楽しいアットホームなきずながいつまでも続くように・・・

ご利用者様、スタッフといつもと変わらない日々を過ごしていきたいと思えます。皆様にも時には厳しくご指導して頂きますようお願いいたします。



きずなはとても緑豊かな環境にあります。

あいしま看護センター

永井所長からのお話です。

皆さん、こんにちは。

梅雨も上がり、一段と暑さが加わる頃となりました。

例年にならない暑さが続いておりませんが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

あいしま看護センターの永井と申します。アイシマに勤めて7年、看護センターの管理者となつて、今年の5月で丸5年となりました。おかげさまで、皆さまに助けて頂きながら、平成22年に開設したあいしま看護センターも少しずつですが大きくなり、頑張つて続けられています。ありがとうございます。

現在、在宅療養者34名の訪問とグループホーム6施設を訪問しています。在宅での内訳は、34名中4名が小児、2名が成人、残りの28名が高齢者で、まさに“子どもからお年寄り”までが対象です。その皆さまからの笑顔から“元気”をもらつて、頑

張つています。利用者の皆さん、いつもありがとうございます。この場を借りて、お礼を申し上げます。

今年アイシマでは、「教育」に力を入れるということで、今年

の目標にも上がつていきます。「教育」にちなんで、あいしま看護センターで受け入れている臨地実習のことをお話しさせていただきます。

昨年から縁あつて、とある大学の看護学部の臨地実習を受け入れています。ふたクールを受け入れて、そのふたクルールの実習が、2月15日に終了したばかりです。学生さんは、礼儀正しく、ご挨拶、自己紹介もきちんできます。この挨拶。私たちはあんな風にできているだろうか？まずはそこから、私たちの反省会です。日頃の自分たちを振り返るきっかけを、学生さんたちからいただいています。また、在宅の利用者さんにスタッフと同行した時のことです。血圧測定をした際、140/48mmHgでした。そこで、学生さんから質

問です。『血圧の上と下がこんなに離れていて、何が原因なんですか？』もちろん、丁寧に説明しました。普段は意識しないで行なっていることを、学生さんに質問されることで、ハツとしたとのこと。人に教えることは自分の知識の確認にもなります。うまく説明が出来ない、足りないと感じれば、調べなおして伝える。それが、学生さんだけでなく、私たちの知識の確認や学びにも繋がります。繰り返し学ぶ大切さを学生さんから気付かされています。

また、いい気づきもありました。実習の最後に、学生さんたちの、学びの会、という名のカンファレンスを開催します。そこでは、学生さんが2週間の実習で得た学びを振り返り発表します。私たちの訪問内容や、利用者との関わりが、学びに繋がっているとつても過言ではありませぬ。私たちは、『よく話を聞いて、利用者の思いを大切に』ことを大切に訪問しています。利用者さん、家族の

思いを第一に関わっている私たちの看護に、学生さんたちは気がついて、学び取ってくれています。そして、スタッフが皆優しく、実習しやすかつた…と言ってくれます。病院での実習は、忙しいのもあつて、なかなか厳しいのでしょうか。私たちも通つて来た道。想像はつきませんが、いい学び、いい実習をしてもらいたかつたら、厳しくすることが効果的なのでしょうか。のびのびと実習してもらうことが大事なのではないかと思つています。スタッフは、利用者さんに関わるのと同じように学生さんにも関わってくれています。“人”を大切にしているのが良く分かります。そこがいいのかなと思つています。そして「大変だけど、私たちも勉強になるのよね…」そう言ってくれます。業務が大変な中、実習に協力してくれて、スタッフにも本当に感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございます。

また、利用者さんたちも学生さんの顔を見ると、途端に笑顔に

なります。「学生さんに風呂に入れてほしい♪」なんていう方も…（笑）ほんと、みんなに元気を振りまいて。若いって良いなあ！

この2年間、実習を受け入れて、私たちの学びにもなり、そして看護の評価もできて、利用者さんも笑顔になり、大変ですが、良かったなあと思つています。来年は、もう一校実習を受け入れます。これからもみんなで力を合わせて、“未来の仲間”と共に育っていきけるよう、益々頑張つて行きたいと思つています。

◆あいしま看護センター  
瀬谷区三ツ境 166-9

## 編集後記

梅雨空はどこへやら、ムシムシと暑い日が続いて何だかイライラしがちですが、どこからかタイミンク良く聞こえてくる虫の声にとっても癒されます。どこか避暑地にも行きたくないなあ… (み)